

Open innovation for the Development of Emerging technologies



第一三共株式会社



三菱UFJキャピタル株式会社

第一三共と三菱 UFJ キャピタルは、“OiDE”と名付けた新しいタイプのオープンイノベーション事業を開始しました。

この事業の目的は、国内アカデミア等の将来有望な創薬基盤技術となりうる研究成果から、製薬会社の視点で画期的な創薬基盤技術に育成することです。有望な研究成果に対して、「OiDE ファンド」の全額出資でベンチャーを設立し、第一三共と三菱 UFJ キャピタルが全面的に支援し育成します。

OiDE 事業のプロセス

1) 研究成果の探索

第一三共と三菱UFJキャピタルが国内アカデミアから、将来の事業化・産業化につながる有望な研究成果を探索します。第一三共は公募ページをオープンし、三菱UFJキャピタルも産学連携の中で研究成果を探索します。

2) 創薬基盤技術への育成

有望な研究成果に対しては、OiDE ファンドの全額出資でベンチャーを設立し、第一三共と三菱UFJキャピタルは全面的に支援して創薬基盤技術に育成します。

3) エグジットとベンチャーとしての継続

その後、一定の成功要件を満たした場合は、第一三共がそのベンチャーの株式または知的財産をあらかじめ設定した価格と条件で買い取ることが可能となります。また、買い取り条件によってベンチャーは事業を継続可能とします。

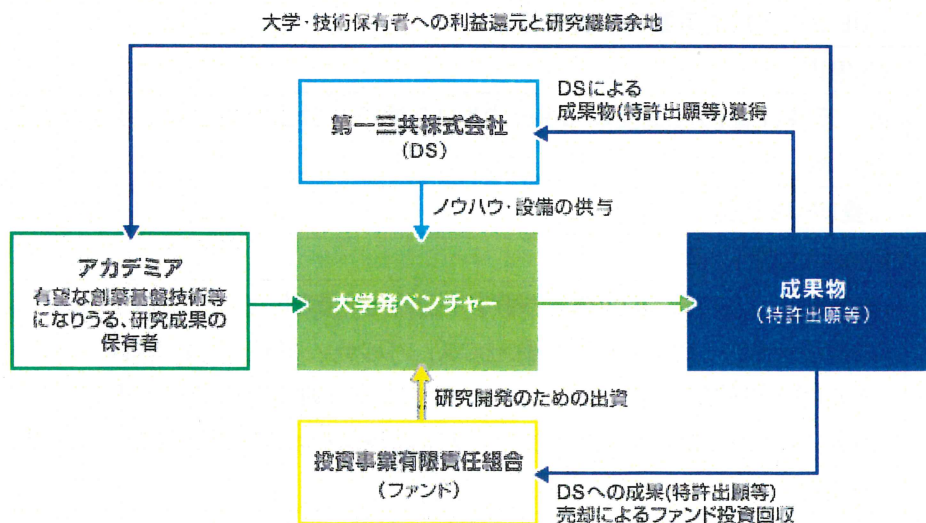


図1 アカデミアにある研究成果を三者で育成する仕組み

研究成果の公募

1) 応募要件

応募対象者	将来有望な創薬基盤技術となりうる研究成果、もしくは画期的新薬につながる創薬標的に関する研究成果を有し、事業化・産業化を希求する大学・公的研究機関所属の研究者
対象研究	新しい疾患治療メカニズム、ワクチン、核酸、次世代抗体、ペプチド、薬物送達システム(ドラッグデリバリーシステム、DDS)、再生医療・細胞治療、希少疾患等に関する創薬基盤技術、及びそれらに関する研究
応募期間	通年
研究期間	原則、1プロジェクトにつき3年間
出資金額	原則、1プロジェクトにつき1億円以内、最大2億円まで追加出資が可能

2) 選考の流れ

第一三共(DS)による審査(書類選考、ヒアリング・知財評価)を経て、三菱UFJキャピタル(MUCAP)と協議し、大学との契約交渉をいたします。その後、MUCAPが主催するOiDEファンド投資委員会において投資の最終決定を行います。詳しくは、下記の第一三共のOiDEプロジェクト紹介公募ページをご覧ください。

<http://www.daiichisankyo.co.jp/corporate/rd/oide/index.html>

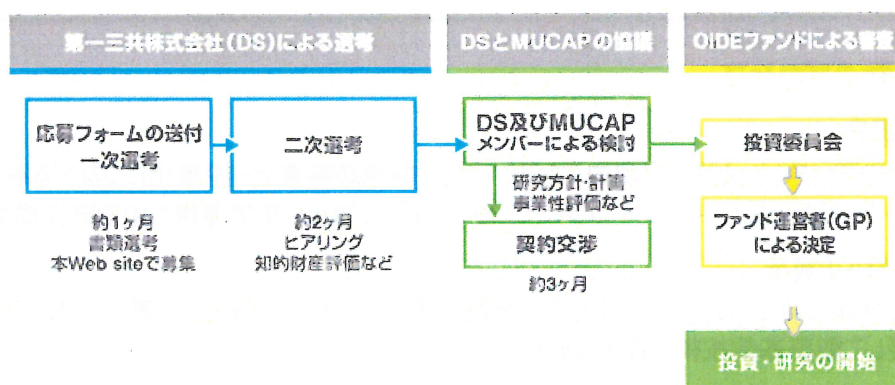


図2 第一三共が公募した研究成果選考の流れ

OiDE ファンドの概要

ファンド名称	OiDE ファンド投資事業有限責任組合
ファンド総額	9.5 億円
ファンド出資者	第一三共(1 億円)、三菱UFJキャピタル(1.9 億円)、独立行政法人中小企業基盤整備機構(4.5 億円) 他
運営会社	三菱UFJキャピタル
ファンド設立	2013 年 9 月 17 日
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・対象法人: 主に日本の大学等が保有する研究成果をもとに新たに国内に設立するベンチャー企業等 ・対象研究成果: 新しい疾患治療メカニズム、ワクチン、核酸、次世代抗体、ペプチド、薬物送達システム(ドラッグデリバリーシステム、DDS)、再生医療・細胞治療、希少疾患等 ・対象ステージ: 創薬基盤技術のコンセプト達成あるいは非臨床試験における疾患メカニズム解明の前段階

OiDE ファンドの詳細は、第一三共や三菱UFJキャピタルのニュースリリース、または三菱UFJキャピタルのホームページ(<http://www.mucap.co.jp/newslist/OiDE/tabid/77/Default.aspx>)をご覧ください。